

国内グループ会社

RIMTEC

会社紹介

RIMTEC 株式会社は、日本ゼオンの 100%の関連会社として本社を東京に置き、ゼオン水島工場の第二工場内に研究所と子会社ゼオンリムがあります。また、海外に研究開発機能を有する子会社 Telene S.A.S.(フランス)、瑞翁貿易有限公司(中国/上海)、ZCLP(アメリカ)に販売拠点を置いています。

当社の主力事業は、ゼオン水島工場の独自技術によって C5^{*}留分より抽出される良質なジシクロペンタジエンを主成分に、RIM 成形(反応射出成形)用の配合液 PENTAM[®](ペンタム)、METTON[®](メトン)および TELENE[®](テレン)の配合液開発と販売で、グローバルに展開しています。

RIM 成形は、金型内でジシクロペンタジエンの重合反応と成形を同時に行って大型成形品を生産する独自の技術です。ジシクロペンタジエンを用いた RIM 成形によって得られる樹脂は、熱可塑性樹脂の約半分のエネルギーで成形可能であり、環境負荷の少ない素材です。

^{*} C5

ナフサの熱分解によって副生する炭素数 5 の炭化水素。合成ゴムや合成樹脂の原料となる成分も含まれる



桜井賢典社長



環境安全活動

1. 省エネへの取り組み

RIMTEC 水島事業所は、子会社ゼオンリムと協力して省エネ活動に取り組んでいます。2011 年は、不要不急の照明および機器の停止のほか産業廃棄物削減への取り組みを行い、現状把握を定期的に行った結果、CO₂ 換算で 10%を削減することができました。今後もさまざまな活動を通じて地球環境に貢献していきます。

2. 地球環境の貢献に向けた研究開発

当社の製品によって得られる樹脂は、熱可塑性樹脂よりも省エネに貢献できるため、積極的に研究開発を継続し地球環境に貢献していきます。本年度は、さらなる省エネに向けて、ヨーロッパと日本で風力発電分野への開発を開始しました。写真の風力発電設備の羽根に当社の樹脂が採用されています。



RIMTEC 製樹脂が使用された風力発電設備

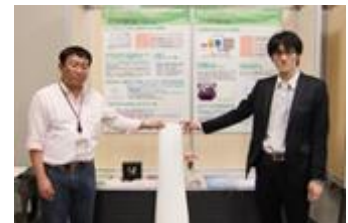
3. 環境関連データ

RIMTEC(株)		2007 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2011 年度
PRTR 法対象物質	対象物質数	0	0	0	0	0
	使用量(トン)	0	0	0	0	0
	排出量(トン)	0	0	0	0	0
産業廃棄物	減容前発生量(トン)	263	149	48	52	29
	埋立処分量(トン)	150	66	1.9	3.6	3.4
水資源(工業用水+地下水+上水道)使用量(千 m ³)		-	-	-	-	167
CO ₂ 排出量(トン)		878	673	213	187	145
エネルギー使用量(原油換算、kL)		366	281	180	160	-

地域との共生活動

1. 産学連携による研究開発

RIMTEC 水島研究所は、地元の岡山大学に研究員を派遣し、共同研究を継続しています。2011 年度は、岡山大学主催の「知恵の見本市」へ共同研究の成果物を出展し、将来を担う学生や地域の方々に RIMTEC の「ものづくり」への関心を持っていただきました。



「知恵の見本市」への出展

2. 中国地方での産業創出

2011 年度より産学連携によって得られた成果物をより具体化させるために、岡山大学と公益財団法人ちゅうごく産業創造センターとの定期勉強会を開始しました。この活動を数年間継続しながら、中国地方で生まれた技術をもとに新たな産業創出に向けた活動を進め、地域の活性化につなげていきます。



岡山大学と公益財団法人ちゅうごく産業創造センターとの定期勉強会の様子